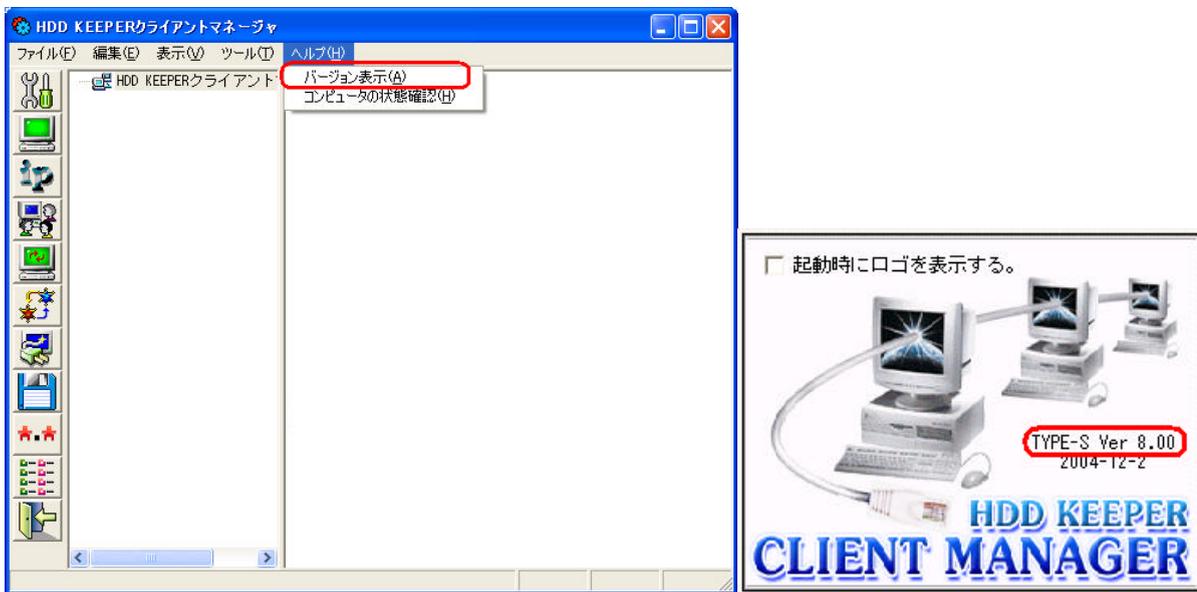


2005 年 1 月 14 日

ClientManager を WindowsXP SP2 で使用する場合の設定手順

設定手順は ClientManager のバージョンにより若干異なりますので、バージョンを確認し、該当する手順方法で設定を行ってください。

インストールされている ClientManager のバージョンは以下の手順で確認することができます。



ClientManager 製品のバージョン一覧は以下の通りです。(2005 年 1 月 14 日 現在)

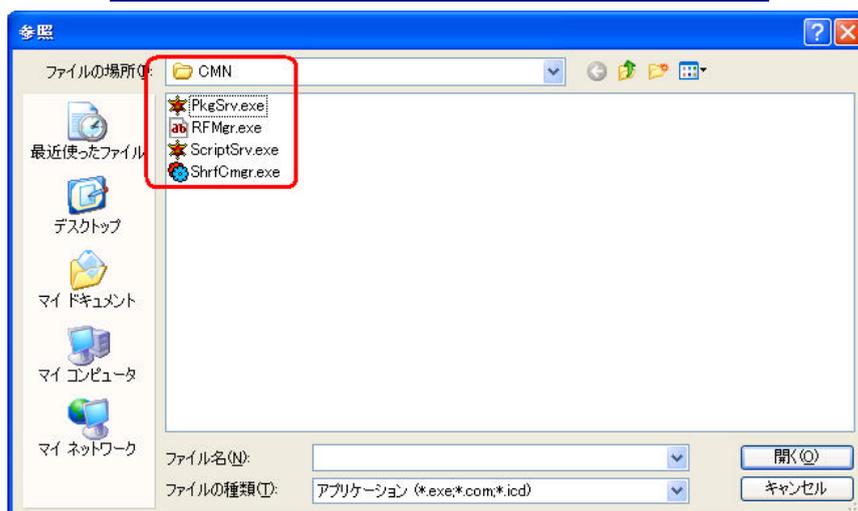
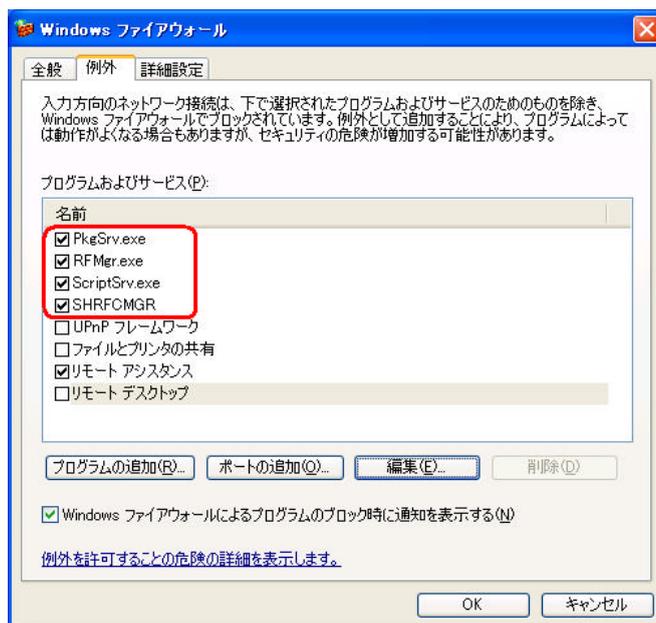
バージョン	製品名
TYPE-S Ver8.00以上	ClientManager Sタイプ
Ver7.05以上	ClientManager Mタイプ
Ver7.05以前	ClientManager

お使いの製品が ClientManager、ClientManager M タイプの場合

1. ClientManager 管理コンピュータの設定

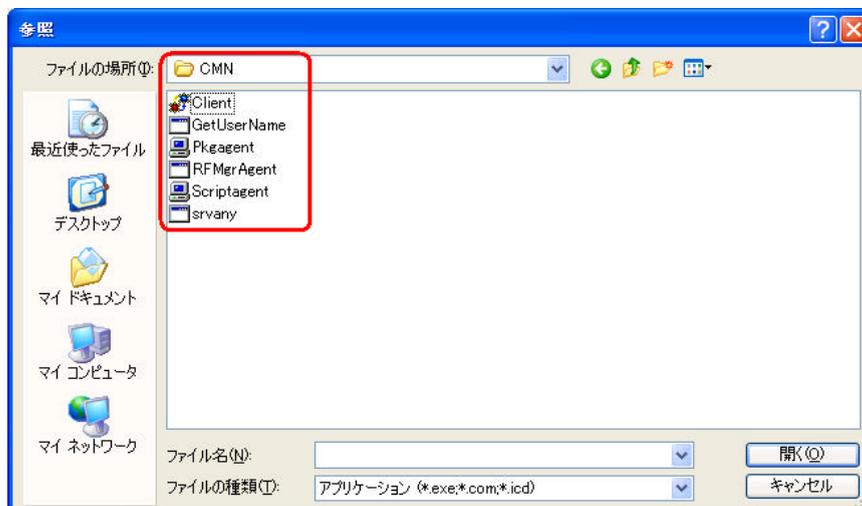
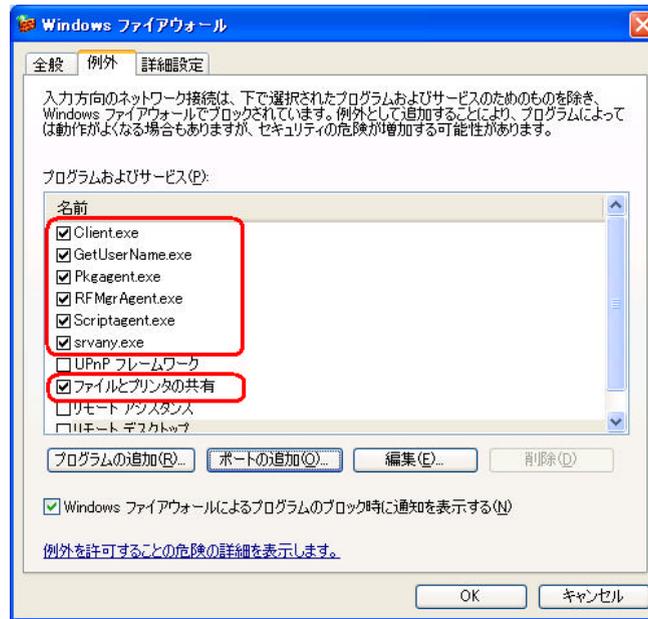
WindowsXP の「Windows ファイアウォール」の例外タブに ClientManager で使用する下図の 4つのプログラムを登録します。「プログラムの追加(R)」を押し、参照 から ClientManager がインストールされている CMN フォルダを指定し、プログラムを一つずつ登録します。

Windows ファイアウォールは、コントロールパネル / セキュリティセンターで表示します。



2. ClientManager クライアントコンピュータの設定

WindowsXP の「Windows ファイアウォール」の例外タブに ClientManager で使用する下図の6つのプログラムを登録します。「プログラムの追加(R)」を押し、参照 から ClientManager がインストールされている CMN フォルダを指定しプログラムを一つずつ登録します。更に「ファイルとプリンタの共有」にチェック印を入れます。

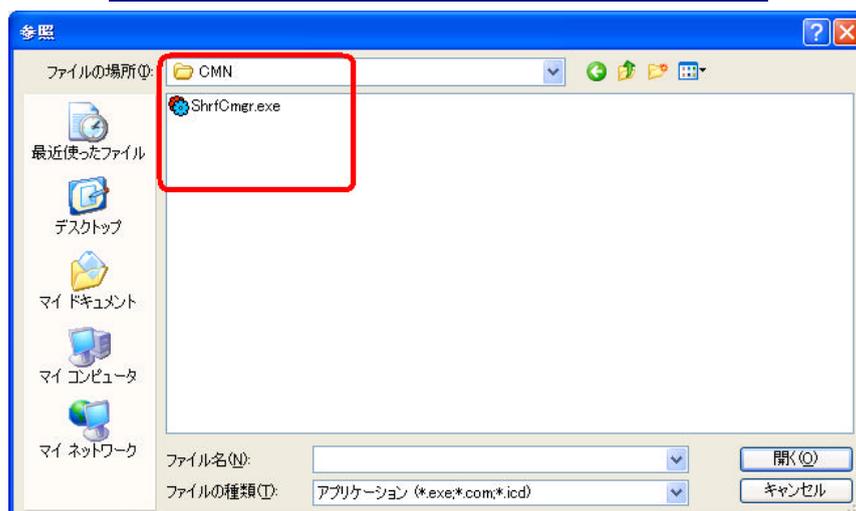
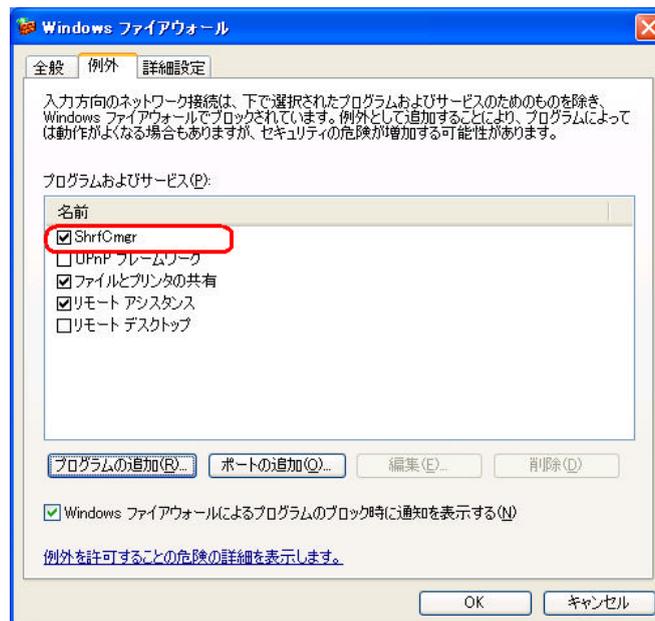


お使いの製品が **ClientManager S** タイプの場合

1. **ClientManager** 管理コンピュータの設定

WindowsXP の「Windows ファイアウォール」の例外タブに ClientManager で使用する下図の 1 つのプログラムを登録します。「プログラムの追加(R)」を押し、参照 から ClientManager がインストールされている CMN フォルダを指定し、プログラムを一つずつ登録します。

Windows ファイアウォールは、コントロールパネル / セキュリティセンターで表示します。



2. ClientManager クライアントコンピュータの設定

WindowsXPの「Windows ファイアウォール」の例外タブにClientManagerで使用する下図の3つのプログラムを登録します。「プログラムの追加(R)」を押し、参照からClientManagerがインストールされているCMNフォルダを指定しプログラムを一つずつ登録します。更に「ファイルとプリンタの共有」にチェック印を入れます。

